第６５回全国へき地教育研究大会青森大会

第３２回東北地区へき地教育研究大会青森大会
第５８回青森県へき地・複式教育研究大会

第二次案内（最終案内）

このたび、第 65 回全国へき地教育研究大会、第 32 回東北地区へき地教育研究大会、第 58 回青森県へき地・複式教育研究大会を、歴史と伝統が織りなす自然豊かな青森県において開催することになりました。

本大会は、「北のまほろば青森で　ともに紡ごう！　新たな時代の豊かな学びを」を大会スローガンにかかげ、全国へき地教育研究連盟第８次長期５か年研究推進計画の３年次にあたる研究大会として、青森県のへき地教育の実践を公開し、全国各地の先生方と研究や交流を深めることで、へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした教育の一層の充実と発展を図るものです。

紅葉の見頃を迎え、秋の味覚真っ盛りの青森県にぜひお越しください。そして共に学び合いましょう。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成２８年６月

青森県へき地・複式教育研究会
会　　長　櫻田　一則（青森市立浪岡野沢小学校長）
第６５回全国へき地教育研究大会青森大会実行委員会
実行委員長　今田　純一（青森市立大栄小学校長）

大会スローガン

北のまほろば青森で　ともに紡ごう！　新たな時代の豊かな学びを

【開催期日】　平成２８年１０月１３日（木）～１４日（金）

【会　　場】　１日目　全体会　リンクステーションホール青森
（〒030-0812　青森市堤町１－４－１　TEL　017－773－7300）
分散会　リンクステーションホール青森
（〒030-0812　青森市堤町１－４－１　TEL　017－773－7300）
ホテル青森
（〒030-0812　青森市堤町１－１－23　TEL　017－775－4141）
ホテルクラウンパレス青森
（〒030-0802　青森市本町５－５－４　TEL　017－775－1151）
２日目　分科会　青森県内４市２町（９会場）

第65回全国へき地教育研究大会青森大会実行委員会　事務局

〒038－0052
青森県青森市清水字浜元１８１
青森市立奥内小学校　校長　小林　真也
TEL　017－754－2009
FAX　017－754－2083
E－mail　okunaisyo-pr@aomoricity.ed.jp
全へき連　http://www.zenhekiren.net/

1　開催趣旨

へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした学校経営、学習指導及び生徒指導上の諸問題について、研究協議するとともに、全国各地におけるへき地教育の研究成果を交流し、へき地教育の充実を図る。

2　研究主題

（1）全国へき地教育研究連盟第８次長期５か年研究推進計画研究主題
へき地教育東北ブロック研究会研究主題
「ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成」
～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした
学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

（2）青森大会研究主題
「ふるさとから豊かに学び、２１世紀をたくましく生きる子どもの育成」
～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かして～

3　主　　催

文部科学省　青森県教育委員会　全国へき地教育研究連盟　へき地教育東北ブロック研究会
青森県へき地・複式教育研究会　青森市教育委員会　弘前市教育委員会　三沢市教育委員会
むつ市教育委員会　つがる市教育委員会　外ヶ浜町教育委員会　田子町教育委員会

4　後　　援

岩手県教育委員会　宮城県教育委員会　秋田県教育委員会　山形県教育委員会
福島県教育委員会　青森県　青森市　弘前市　三沢市　むつ市　つがる市　外ヶ浜町　田子町
青森県市町村教育委員会連絡協議会　青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会
青森県都市教育長協議会　青森県小学校長会　青森県中学校長会　青森県小中学校教頭会
青森県ＰＴＡ連合会　（公財）日本教育公務員弘済会

5　大会基本日程

【１日目】１０月１３日（木）

8:50　9:20　10:10　10:25　12:30　13:30　15:30

受付	全体会			移動 昼食 休憩	分散会	大会専用バスで 各分科会場周辺 の宿舎へ移送
	開会式	休憩	基調報告 記念講演 次期開催県挨拶 アトラクション		課題別分散会 （６会場）	

【２日目】１０月１４日（金）

8:30　9:00　10:40　11:00　12:20　12:30　13:30

受付	分科会					大会専用バスで 最寄り駅、空港 等へ移送
	公開授業 全校活動等	休憩 移動	開会行事 研究発表 研究協議	閉会式	昼食 休憩	

※分科会場（公開授業校）によって日程が一部変更になる場合があります。

◇１０月１２日（水）全国へき地教育研究連盟理事会・秋季総会：ホテル青森
交流会（レセプション）：ホテル青森

６　内　　容

【１日目】１０月１３日（木）

◆　全体会　　リンクステーションホール青森　　青森県青森市堤町1-4-1　　☎017-773-7300

（１）開　　会　　式　　９：２０

（２）基　調　報　告　　１０：２５　　全国へき地教育研究連盟研究部長
青森大会実行委員会研究部長

（３）記　念　講　演　　１０：４０　　演題　「可能性を信じて
～“技のデパート”を支えたひと・もの・こと～」
講師　スポーツキャスター、ＮＨＫ大相撲解説者
近畿大学経営学部客員教授　舞の海　秀平　氏

（４）次期開催県挨拶　　１１：４５　　高知県

（５）アトラクション　　１２：１０　　ねぶた囃子　「に組」囃子方と橋本小学校児童

◆　課題別分散会　　１３：３０

会場／発表	第１分散会 リンクステーションホール青森	第２分散会 リンクステーションホール青森	第３分散会 ホテル青森	第４分散会 ホテル青森	第５分散会 ホテルクラウンパレス青森	第６分散会 ホテルクラウンパレス青森
発表１ 全国ブロック	東海・北陸 愛知県	中国・四国 山口県	九　州 熊本県	近　畿 兵庫県	北海道 深川市	関東甲信越 新潟県
発表２ 東北ブロック	宮城県 川崎町	岩手県 花巻市	青森県 十和田市	山形県 大蔵村	秋田県 羽後町	山形県 酒田市

【２日目】１０月１４日（金）

◆　分科会（公開授業）会場校

	会　場　校　名
A	そとがはま　みんまや 外ヶ浜町立三厩中学校
B	つがる　しゃりき つがる市立車力小学校
C	つがる　しゃりき つがる市立車力中学校
D	ひろさき　ときわの 弘前市立常盤野小中学校
E	みさわ　おおぞら 三沢市立おおぞら小学校
F	みさわ　だいさん 三沢市立第三中学校
G	むつ　かわうち むつ市立川内小学校
H	むつ　かわうち むつ市立川内中学校
I	たっこ　かみごう 田子町立上郷小学校

7　課題別分散会発表校（上段：全国ブロック、下段：東北ブロック）

分散会	領域	全国第８次研究推進計画研究課題	学　校　名 【上段：全国ブロック】 【下段：東北ブロック】	校長・発表者	研究主題等
1	学校・学級経営の深化・充実	～課題１～ 家庭や地域と連携して、確かな学びを創る特色ある教育計画の創造と推進を図る。	【東海・北陸　愛知県】 とうえい　とうえい 東栄町立　東栄　中学校 〒449-0214 住所　愛知県北設楽郡東栄町本郷字宮平1-1 TEL　0536-76-0071 FAX　0536-76-0917 Mail:toei-jh@kitashitara.jp	校長 石田　雄吉 発表者 教諭 一野瀬　泰根	「自ら学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」 ～互いを認め、共に高め合う東中生～ 学級数　単３ 特支２ 生徒数　６０名 級　数　へき地準級
			【宮城県】 かわさき　とみおか 川崎町立　富岡　中学校 〒989-1507 住所　宮城県柴田郡川崎町支倉字落田郷山8-3 TEL　0224-86-2007 FAX　0224-82-8922 Mail:tomioka-jhs@lime.ocn.ne.jp	校長 樋口　浩 発表者 教諭 安田　弘秋	「確かな学力を身につける生徒の育成」 ～思考を深める学び合いを通して～ 学級数　単３ 特支１ 生徒数　４４名 級　数　特地
2		～課題２～ ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る。	【中国・四国　山口県】 しゅうなん　わだ 周南市立　和田　中学校 〒746-0103 住所　山口県周南市大字垰215-1 TEL　0834-67-2102 FAX　0834-67-2127 Mail:wadachu@shunan.ed.jp	校長 森原　清 発表者 教諭 藤井　健一	「ふるさと和田を愛し、心豊かに次代を生きぬく児童生徒の育成」 ～小規模の特性を生かした連携を強化して～ 学級数　単３ 生徒数　２０名 級　数　へき地準級
			【岩手県】 はなまき　ささまだいに 花巻市立　笹間第二　小学校 〒025－0136 住所　岩手県花巻市横志田6-142-8 TEL　0198－29－2327 FAX　0198－29－3166 Mail:sasa2sho@edu.city.hanamaki.iwate.jp	校長 大越　千晶 発表者 教諭 藤本　淑子	「ふるさとでの学びを生かし、新しい時代を拓く、心豊かな児童の育成」 ～地域とともに紡ぐ「賢治さんと白菜物語」～ 学級数　複３ 児童数　２２名 級　数　へき地準級
3		～課題３～ 地域に根ざし、家庭や地域と連携して豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る。	【九州　熊本県】 みなみあそ　りょうへい 南阿蘇村立　両併　小学校 〒869-1501 住所　熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字両併995 TEL　0967-62-0126 FAX　0967-62-0191 Mail:ryohei-syo@tsubaki.higo.ed.jp	校長 後藤　利恵子 発表者 教諭 今村　由美	「ふるさとを見つめ、にない、未来を拓く両併っ子の育成」 ～「ひと、もの、こと」を大切にした豊かな関わり合いを通して～ 学級数　単２　複２ 児童数　４１名 級　数　なし
			【青森県】 とわだ　とわだこ 十和田市立　十和田湖　小学校 〒018-5501 住所　十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋16-1 TEL　0176-75-2053 FAX　0176-75-2373 Mail:kyoi-2101@city-towada-school.jp	校長 瀧野　昭彦 発表者 教頭 佐藤　修	「ふるさとに誇りをもちふるさとを愛し続ける子どもの育成」 ～五感を使う心に残る感動体験を通して～ 学級数　単１　複１ 児童数　５名 級　数　へき地３級

<table>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="6">学習指導の深化・充実</td><td rowspan="2">～課題４～

児童生徒の分かる喜びや個性の伸長を重視した指導計画の改善・充実を図る。</td><td>【近畿　兵庫県】
とよおか　　たんとう
豊岡市立　但東　中学校
〒668-0322
住所　兵庫県豊岡市但東町三原108-1
TEL　0796-54-1155
FAX　0796-54-1156
Mail:Tantou-jhs@edu.city.toyooka.hyogo.jp</td><td>校長
柳原　　守
発表者
教諭
兵井　政博</td><td>「発表の活性化をとおして、一人ひとりの考えを深化させる」
～主体的に学ぶ授業の実現に向けて～
学級数　単３ 特支１
生徒数　８７名
級　数　へき地準級</td></tr>
<tr><td>【山形県】
おおくら　　おおくら
大蔵村立　大蔵　小学校
〒996-0212
住所　山形県最上郡大蔵村清水2688
TEL　0233-75-2210
FAX　0233-34-2416
Mail：ohkurap@educet.plala.or.jp</td><td>校長
笠原　正三
発表者
教諭
沓澤　孝至</td><td>「共に学び合う授業の創造」
～聴き合いとつながりを大切にし、学び合う子どもをめざして～
学級数　単６ 特支３
児童数　１６２名
級　数　へき地準級</td></tr>
<tr><td rowspan="4">5</td><td rowspan="3">～課題５～

学習意欲の向上や個に応じたきめ細かな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る。</td><td>【北海道　深川市】
ふかがわ　　ほくしん
深川市立　北新　小学校
ふかがわ　　たどし
深川市立　多度志　小学校
ふかがわ　　おさむない
深川市立　納内　小学校
〒074-0141（窓口：多度志小学校）
住所　深川市多度志１１６０
TEL　0164-27-2005
FAX　0164-27-2009
Mail:yagihashi.tomoaki@ed.city.fukagawa.hokkaido.jp</td><td>校長　伊藤孝一

校長　長谷川孝

校長　坂下恵一
発表者
北新小学校
教頭
古畑　聡子</td><td>「主体的創造的に学び、ふるさとに誇りをもち、新しい時代を切り拓く心豊かな子供の育成」
～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の進化・充実をめざして～</td></tr>
<tr><td colspan="3">〔多度志小学校〕
学級数　複３
児童数　１３名
級　数　へき地３級

〔納内小学校〕
学級数　単２複２特支３
児童数　５１名
級　数　なし

〔北新小学校〕
学級数　単２　複２　特支２
児童数　４１名
級　数　なし</td></tr>
<tr><td>【秋田県】
うご　　たかせ
羽後町立　高瀬　小学校
〒012-1241
住所　秋田県雄勝郡羽後町田代字畑中45
TEL　0183-67-2323
FAX　0183-67-2919
Mail: takase@yutopia.or.jp</td><td>校長
高橋　　満
発表者
教諭
佐々木美奈子</td><td>「自ら考え、主体的に学ぶ子どもの育成」
～伝え合い、学び合う学習活動を通して～

学級数　単６ 特支１
児童数　７５名
級　数　へき地２級</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">～課題６～

課題意識をもって自ら学び、仲間と共に高め合う学習過程の改善・充実を図る。</td><td>【関東甲信越　新潟県】
じょうえつ　まき
上越市立　牧　小学校
〒943-0636
住所 新潟県上越市牧区国川1550-1
TEL　025-533-5009
FAX　025-533-5031
Mail：maki-e@jorne.or.jp</td><td>校長
戸田　一弘
発表者
教諭
大竹　裕範</td><td>「伝え合う力を育む授業づくり」
～熟考する子どもをめざして～
学級数　単６ 特支１
児童数　６８名
級　数　へき地準級</td></tr>
<tr><td>【山形県】
さかた　　じみこうや
酒田市立　地見興屋　小学校
〒999-6814
住所　山形県酒田市地見興屋字前割9-1
TEL　0234-62-2601
FAX　0234-62-2204
Mail：jimikoya@sakata.ed.jp</td><td>校長
髙橋　文子
発表者
教諭
村田　　謙</td><td>「コミュニケーション力を身につけ、主体的に学ぶ子どもの育成」
～伝え合い、認め合い、高め合う授業づくり～
学級数　単２　複２
児童数　３７名
級　数　へき地準級</td></tr>
</table>

8　分科会（公開授業）会場校概要

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="2">外ヶ浜町立　三厩中学校
〒030-1729
東津軽郡外ヶ浜町字三厩下平5-1
0174-37-2042
１級　　A</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
生 徒 数</td><td>三浦　博英
単式３、特支１
４
１１
２１</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td>１年（単式）【国語】
２年（単式）【社会】
３年（単式）【保健体育】</td><td>二校時</td><td>全学年（全校集会）【特別活動】
「三中祭（文化祭）終了集会」</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="4">自分で考えて学習する生徒の育成を目指して
～学ぶ意欲を高める学習指導の工夫～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="4">①⑤</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="4">「自分で考えて学習する生徒を育成すること」を目標に、課題設定や学習形態、評価方法の工夫などにより、意欲を喚起させ、話し合いや学び合いの活動を通して表現力を磨き、獲得した知識と自他の考えを統合させる応用力を身に付けさせるよう、３年計画で研究を進めている。
○少人数の良さを生かし、きめ細やかな指導や対応により、基礎学力の定着や学力向上を図っている。
○小学校における指導の継承に努め、共通の方向性を持って、９年間を通し子どもの成長を図るべく小中連携の充実・深化に努めている。
○地域とつながる活動により、地域の教育資源を活用し、地域を愛して誇りを持ち、貢献できる力を養い、「地域の子ども」としての成長を図っている。</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="4">○本校のある三厩地区は、平成17年に蟹田町、平舘村、三厩村が合併して誕生した外ヶ浜町の飛び地である。津軽半島の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相対している。西には半島の中央を縦走する津軽山地があり、山と海に挟まれた風光明媚な地域である。「津軽海峡冬景色」に歌われる龍飛崎や太宰治ゆかりの地もあり、観光客も多い。

○平成７年４月に旧三厩村内の２つの中学校を統合して開校した学校である。開校当時106名の生徒が在籍していたが、現在は地域の過疎化の影響もあり、生徒数は減少している。
○本校は、外ヶ浜町より「無形文化財　太刀振（たちふり）」の保存会に指定されている。生徒から生徒へ踊りを伝える練習会を１学期から行い、夏休み中に生徒たちの手でねぶたを制作し、２学期の「三厩中学校ねぶた祭」で地区内約１４キロの道程を運行しながら地域芸能の「太刀振」や「荒馬（あらま）」を披露している。
○５月の「小中学校合同体育祭」、７月の「龍飛清掃」と、小学校と共に行事を行うだけでなく、小学生の中学校訪問や中学校教員による小学校への出前授業、小中交流研修会（授業研究会）等と、連携を深めている。

○龍飛清掃やねぶた祭、グループホーム訪問、老人ホーム訪問等の学校行事の他、地域の「義経まつり」における武者行列や吹奏楽演奏での参加で、地域の人々と触れ合う機会も多く、生徒も地域の方々から見守られていることを実感している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="3">つがる市立　車力小学校
〒038-3303
つがる市車力町屏風山1-270
0173-56-2004
１級</td><td>B</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
児 童 数</td><td>川越　しづ子
単式２、複式２、特支１
５
１３
４２</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td colspan="2">１年，２年（単式）【国語】
３・４年、５・６年（複式）【国語】
特別支援学級（単式）【国語】</td><td>二校時</td><td colspan="2">全学年【特別活動】
全校問答ゲーム</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="6">主体的に学び合う子どもの育成
～ゴールを明確にした学習過程の工夫を通して～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="6">⑥</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="6">○本校では、思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学び合う子どもの育成を目指し、国語科において身に付けさせたい力を明確にした単元構成、協働的な学びを実現するための授業づくりに視点をあて研究に取り組んでいる。
○「単元のゴールを明確にした学習過程の工夫」として、身に付けさせたい力の明確化、言語活動の効果的設定、モデルの提示等を研究するとともに、「本時のゴールを明確にした学習過程の工夫」として、話し合いや交流のさせ方、見通しや振り返りのさせ方等を研究している。
○「話すこと・聞くこと」の基礎トレーニングとして、全校集会の場で問答ゲームを年間数回取り入れ、論理的な話し方や考え方の向上に努めている。</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="6">○本校は、つがる市の北側に位置し、北には十三湖、西に日本海、東に津軽平野を臨む自然に恵まれた環境にある。本校が位置する津軽平野北部は古くから砂塵や強風、風雪に晒され、現在の米作りを主産業とする豊かな実りを得るまでの先人の苦労は並大抵のものではなかった。現在は米はもちろん砂地を生かした果樹栽培（スイカ・メロンなど）・野菜栽培（長芋・ゴボウなど）も盛んで、屏風山のスイカ・メロンは県内でも有名である。

○地域の過疎化・少子化による波は避けられず、平成２８年度に閉校を迎え、地区の３小学校が統合し平成２９年度に新「車力小学校」が開校する予定である。
○地域の方々やＰＴＡの学校に寄せる思いは熱く、環境整備や学校行事等教育活動に対する協力も多大なものがある。近年はお父さん方を中心に環境整備はもちろん施設補修まで幅広く活動を支援してくれている。
○自然に恵まれた学習環境の中で『みんなのやくそく「あ（あいさつ）い（いのち）う（うんどう）え（えがお）お（おはなし)』を合い言葉にきめ細かな指導を推進している。中でも小規模校の特性を生かした縦割り班集会やお年寄りとの交流活動「花いっぱい運動」などでは高学年はリーダーとしての自覚を高め、低学年は思いやりの心や態度を学んでいる。休み時間等において、６年生が低学年の面倒を見ながら遊んでいる微笑ましい姿は本校の伝統になりつつある。
 </td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="3">つがる市立　車力中学校
〒038-3303
つがる市車力町屏風山1-214　C
0173-56-2023
１級</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
生 徒 数</td><td>木村　文紀
単式５、特支２
７
２０
１１６</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td>1年(単式)【道徳】
2年A組(単式)【数学】、B組(単式)【体育】
3年A組(単式)【国語】、B組(単式)【英語】</td><td>二校時</td><td colspan="2">全学年（異年齢集団活動）
【特別活動】「合唱づくり」</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～ 副 主 題 ～</td><td colspan="5">確かな学力を身につけた生徒の育成
～学び合い活動や異年齢集団による交流活動を通して～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="5">⑤</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="5">○本校では「夢を育むための確かな学力の向上」を学校課題に据え、数年前から学び合いの場の工夫についての研究に取り組んできたが、昨年度から、それに加え、異年齢集団の交流活動についても研究を進めることにした。それは、様々な交流活動を行うことにより、生徒個々の学びが深まると共に、自己肯定感や自己有用感を高めることができ、それが学習意欲へとつながっていくと考えているからである。
○具体的に、教員を次の三つのグループに分け、研究を進めている。
「少人数を生かした学び合い」「異年齢集団による活動」「ＩＣＴ機器の活用」昨年度と発表年度の２年間をかけて研究を共有し合い、本校生徒の実態に即した効果的な指導のあり方を確立していきたい。
○学校適応感尺度（アセス）や自己有用感・自己肯定感を測定する尺度を実施して、きめ細やかな生徒理解に役立てるほか、生徒の変容を把握する検証材料として活用していきたいと考えている。</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="5">○車力地区は、津軽半島西北部の日本海沿いに位置しており、南北に小高い丘が続く屏風山、その傍らを悠々と岩木川、山田川が流れる自然豊かな場所である。
長い年月をかけて岩木川の治水や防風林を築いてきたお陰で、農作物が豊かに実る大地となり、特に屏風山の銘柄のスイカやメロンは有名である。また、明治22年（1889）にアメリカの帆船チェスボロー号が七里長浜沖で座礁した際に、村民をあげて人命救助に行ったことは、今でも語り継がれている。

○全校生徒は116名と少ないが、行事にも積極的に取り組み、特に毎年、体育大会で披露している全校生徒による集団演舞とダンス、紅白に分かれた応援合戦はとても見応えがある。また、部活動も盛んで、昨年度の地区中体連では野球部、テニス部、柔道部男女が優勝し、他の部活動もみな３位入賞を果たしている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="3">弘前市立　常盤野小中学校
〒036-1345
弘前市常盤野字湯の沢45-4
0172-83-2047
１級</td><td>D</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
児童･生徒数</td><td colspan="2">蔦川　俊之
小　単式1、複式2　中　複式1
小　３　　中　１
小　６　　中　３
小　５　　中　３</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td colspan="2">小１年　　（単式）【算数】
小３・４年（複式）【国語】
小５・６年（複式）【算数】
中１年（単式）【理科】
中２年（単式）【国語】</td><td>二校時</td><td colspan="3">中１・２年（中１・２年合同）
【総合的な学習の時間】</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="6">主体的に表現する児童生徒の育成
～思考・判断を基盤にした表現力の育成～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="6">③⑤</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="6">（１）言語活動が適切に位置づけられた単元計画や本時の指導計画
①学習のねらいと言語活動とのつながり
②児童生徒の実態に柔軟に対応した言語活動
③児童生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得する場面（教師が教える場面）と児童生徒がそれを活用して課題解決する場面のバランスがとれた言語活動
（２）表現する場の設定
①発達の段階や各教科の特質に応じた思考・判断や表現
②相手・目的・意図に応じた表現方法（ＩＣＴ機器の活用等）や表現内容
（３）表現力育成のための教師の関わりの程度や工夫（発問・指示・視点の広げ方等）
①発表や話し合いの相手役としての立場から
②児童生徒の指導者としての立場から</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="6">本校は、それまで百沢小学校の分校であった小学校と中学校が独立して、昭和27年に岩木村立常盤野小中学校として開校した。その後、町制施行により岩木町立常盤野小中学校、市町村合併により弘前市立常盤野小中学校となった。
弘前市常盤野地区は、青森県の南西、弘前市西部の津軽国定公園の中にあり、空気清涼にして緑豊かな地区である。中心部となる嶽温泉は、今から約340年前に発見されたと言われている。北は岩木山、西は西津軽郡鰺ヶ沢町、南は西目屋村に接し、標高450m、いわゆる嶽高原の中心部に位置する。学校のすぐ近くには、岩木青少年スポーツセンターの施設やグランドがあり、本校は体育行事等で定期的に利用している。

学区は戸数約80戸、弘前へはおよそ20kmという地点にあり、周囲には別荘が建ち並ぶ。「嶽」 の愛称で親しまれるこの地は、風光明媚、出湯また良しという自然環境に恵まれ、且つ人情豊かで、春は水芭蕉の花が咲き山菜の宝庫となり、夏は霊峰岩木山登山や高原のキャンプ生活に涼と憩いを求めるのに最良の場所となる。秋は「嶽キミ（とうもろこし）」の最盛期となり、紅葉に加えきのこも豊富にとれる。冬は霊峰岩木山のもと、スキーによって足腰を鍛えるには格好の地であり、本校からサラエボオリンピック出場、現全日本スキー連盟アルペン部長の岩谷高峰氏を輩出している。

近年は児童生徒数が減少の一途をたどっているが、小中併置校のよさを生かし、学校行事や児童生徒会行事の他、休み時間のレクリエーションも小中合同で取り組んでいる。上級生が自主的に模範を示し、その姿を下級生があこがれの眼差しで見つめながら参加することを通して、豊かな心を育んでいる。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="3">三沢市立　おおぞら小学校
〒033-0022
三沢市大字三沢字庭構1084-33
0176-50-8020
１級</td><td>E</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
児 童 数</td><td>新舘　勝紀
単式６、特支２
８
１６
１１０</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td>１年（単式）【国語】
４年（単式）【道徳】
５年（単式）【総合】</td><td>二校時</td><td colspan="3">２年（単式）【英語】
３年（単式）【学級活動】
６年（単式）【理科】</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="6">「主体的に考え、学び合う児童の育成」
～一人一人に学ぶ喜び、分かる楽しさを実感させる授業づくりを通して～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="6">④⑥</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="6">「分かる・できる」を実感し、共に学ぶ力を身に付ける子どもを育てるために、授業に「焦点化・視覚化・共有化」の３つの要件を取り入れながら、課題解決できる学習の仕方を明確にすることで、どの児童も学ぶ喜びや分かる楽しさを実感できる学習指導の在り方を、授業実践を通して明らかにする。</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="6">○三沢市は航空自衛隊基地、米軍基地を有しており、日米交流が盛んである。そして、文部科学省指定教育課程特例校として、１年生から「英語活動」の時間を週１回設定している。
○本校は、三沢市内の北部に位置し、すぐ近くの松林を抜けると太平洋を臨むことができる。その地から、１９３１年世界で初めて太平洋無着陸横断した「ミス・ビードル号」が飛び立っている。また学区内にある谷地頭地区には明治５年に日本初の近代洋式牧場が開かれ、外国の進んだ方式が取り入れられたところでもある。現在は、冷涼な気候を利用し、生産量日本一を誇るごぼうや大根、人参等の根菜類の栽培が主力となっている。

○平成２７年１１月には、創立１０周年を迎えた歴史の浅い学校ではあるが、地域の恵まれた自然環境を生かすとともに、保護者の協力も得て、学校田の田植え、稲刈り作業や地曳網、地域の民家を利用した社会科学習も行われている。
○隣接する第三中学校とは、地域型の小中連携教育として合同運動会や合同避難訓練が行われ、また県学習状況調査問題について、協同で分析し、授業改善に生かすなどの取組も行っている。
 </td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="2">三沢市立　第三中学校
〒033-0022
三沢市大字三沢字庭構1084-33
0176-59-3333
１級</td><td>F</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
生 徒 数</td><td>米内山　誠毅
単式３、特支２
５
１４
５２</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td>１年生（単式）【英語】
２年生（単式）【理科】
３年生（単式）【道徳】</td><td>二校時</td><td colspan="2">１年生（単式）【社会】
２年生（単式）【数学】
３年生（単式）【国語】</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="5">基礎・基本を定着させ、さらに思考力を高めるための指導の研究
～主体的に学び合う活動を通して～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="5">⑥</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="5">○本校の校内研究では、生徒一人一人の思考力を高める授業づくりのために以下の仮説を軸として研究を進めている。
「各教科の特性を生かし、課題に対して解決の見通しをもち、情報を収集・分析・整理したり、他者に対して発信・交流したりする学習活動を行うことにより、生徒一人ひとりの思考力が高まるであろう。」
○各教科で授業の目標に応じ、仮説を焦点化して授業構成の工夫を行い、学び合う活動や、アクティブ・ラーニングの考え方を基にした授業実践と検証を積み重ね、授業力の向上に努めている。</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="5">○本校は、青森県の東、三沢市の北部に位置し、昭和２８年６月１日に谷地頭中学校、織笠中学校、六川目中学校の三校を統合し、開校した。開校当初は生徒数２３９名、６学級であった。

○近年の少子化に伴い、平成２４年１１月に、学区を同じくするおおぞら小学校と同じ敷地に体育館を共有する形で新校舎建設移転を行った。
○隣接するおおぞら小学校とは、地域型の小中連携校として、年３回の小中合同会議を実施している。小中合同運動会などの行事や日常の授業公開で授業を参観し合う取組など、保護者・地域の協力も得ながら、小中が連携した教育活動を行っている。
○地域は、米軍三沢基地や六ヶ所原燃再処理施設に近接すると共に、生産量日本一のごぼう、日本有数の高品質を誇るにんにく、長芋などを生産する農業が盛んな地である。古くは、会津藩ゆかりの廣澤安任（ひろさわやすとう）が明治維新後に日本最初の民間洋式牧場を拓いた歴史ある地であると共に、太平洋無着陸横断飛行を達成した「ミス・ビードル号」が、１９３１年に飛び立った地としても知られている。
 </td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="3">むつ市立　川内小学校
〒039-5201
むつ市川内町休所５－１
0175-42-2241
１級</td><td>G</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
児 童 数</td><td>山内　和彦
単式６、特支２
８
１７
１２５</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td colspan="2">２年（単式）【生活科】
４年（単式）【総合的な学習の時間】
６年（単式）【総合的な学習の時間】</td><td>二校時</td><td colspan="2">小中合同合唱</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="6">主体的に学び考え、表現する児童の育成
～自ら課題を見付け、進んで解決し、協働的に学び合う学習指導の研究～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="6">②⑥</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="6">○児童が知的好奇心をもって課題を解決したり、明るくはきはきと自分の考えを話したりすることができるようになるために、「生活科」「総合的な学習の時間」を研究の中心にして取り組んでいる。
○研究内容は、
（１）子どもが意欲的に課題に取り組むような地域素材の開発。
・地域素材に富む川内地区の「ひと」「もの」「こと」に焦点を当て、子どもたちと共に地域理解を図る。
（２）探究的な学習活動の各段階において、育てたい力をつけるための指導の仕方。
・各段階における育てたい力を明確にして指導する。
（３）学習内容をより深めるための協働的な学び合い。
・集団として問題解決をめざしながら、個の学びも充実できるような学び合いの場を設定する。

【学会で発表したウミニナ】</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="6">○本校があるむつ市川内地区は、本州最北端下北半島のむつ市西部、陸奥湾沿いに位置している。江戸時代には「北前船」によるヒバ材、海産物の移出で栄え、大正時代には日本三大鉱山に数えられる「安部城鉱山（銅山）」の開発により、日本各地から労働者が集まり活況を呈した。
○川内地区は、地域学習の素材の宝庫である。むつ湾でのホタテの養殖やなまこなどの漁業。野平高原での高原野菜や畜産などの農業。丘陵地を利用してのブドウ栽培から下北ワインの醸造。湯野川温泉や川内渓谷、川内ダム湖、かわうちまりんび～ちなどを軸とした自然環境。川内小学校では、これらの川内素材を取り入れた学習に取り組んでいる。
昨年度は、５年生が準絶滅危惧種ウミニナ（巻き貝）について調べた結果を、北海道大学で開催された学会で代表児童が発表してきた。今年度も熊本の学会で研究の続きを発表する。【研究会当日も紹介予定】
○本校は、小中一貫教育を推し進めている。教育目標は「志高く　夢に挑戦～Catch My Dream～」である。この目標到達のために９年間を見通して「学びを続ける力（思考体力）」「即効性のある実践（徳表現力）」「丈夫な体と心（健体康心）」の育成を図っている。
また、中１ギャップ解消のために中期（小学校５、６年・中学校1年）における乗り入れ授業だけでなく、教師間での情報交換も定期的に行っている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="3">むつ市立　川内中学校
〒039-5201
むつ市川内町休所5-1
0175-42-2213
１級</td><td>H</td><td>校 長 名
編　　制
学 級 数
職 員 数
生 徒 数</td><td>山内　和彦
単式３、特支３
６
２０
１０５</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td colspan="2">１年（習熟度別学習）【英語】
２年（習熟度別学習）【数学】</td><td>二校時</td><td colspan="2">小中合同合唱</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="6">協働的に学び合い、表現力を高めるための学習指導の研究</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="6">⑤⑥</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="6">研究目標
　主体的に学び、考え、表現する力を育成するためには、授業の中で生徒が考えを発表したり、課題解決のために意見を出し合ったりする場面、またはお互いに学び合う場面を意図的に設定し、協働的に学び合う学習活動を充実させることが効果的であることを実践を通して明らかにする。
研究仮説
　協働的に学び合う場面で、話し合いの進め方や表現の仕方についての指導を工夫し、生徒の学習活動を充実させることで、生徒一人一人の考えや理解が深まり、表現力が高まっていくであろう。
研究内容及び研究方法
（１）話し合い・学び合いのグループ構成や課題の与え方の工夫
（２）言語活動を充実させる発表のさせ方や表現方法の工夫
（３）生徒の意欲を引き出す指導方法の工夫</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="6">○本校があるむつ市川内地区は、青森県の最北部、本州最北端下北半島のむつ市西部、陸奥湾沿いに位置している。江戸時代には「北前船」によるヒバ材、海産物の移出で栄え、大正時代には日本三大鉱山に数えられる「安部城鉱山（銅山）」の開発により、日本各地から労働者が集まり活況を呈した。近年は、陸奥湾でのホタテ貝の養殖、野平高原での高原野菜や畜産などの農業、丘陵地を利用して栽培したブドウを用いた下北ワインの醸造など、豊かな自然環境を生かした農業や漁業が盛んに行われているが、人口の減少は進み、生徒数も２０年前と比較すると約３分の１となっている。
○生徒は、穏やかな陸奥湾に面した落ち着いた地域の気風がそのまま反映してか、明るく素朴で純真であり、生徒指導上の問題はほとんど見られない。また、合唱・清掃・挨拶・部活動を川内中の「４本柱」として位置づけてその向上と推進に努めている。
○本校は、小中一貫教育を推し進めている。今年度、教育目標を変更し、「志高く夢に挑戦 ～Catch My Dream～」とした。努力目標として「思考体力の定着（学び続ける力)」、「徳表現力の育成（即効性のある実践)」、「健体康心の向上（丈夫な心と丈夫な体)」を掲げ、小中９年間を通して教育目標の実現を目指すほか、今年度は、生徒会テーマも「夢限大～限りない夢へ 大きな一歩を～」とし、学校が一体となって生徒の夢の実現を応援していくことにしている。
 </td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学　校　名
所　在　地

電　話　番　号
級　　地</td><td colspan="3">田子町立　上郷小学校
〒039-0317
三戸郡田子町山口字道前２１－１
0179-33-1005
準級</td><td>Ⅰ</td><td>校長名
編　制
学級数
職員数
児童数</td><td colspan="2">木村　文宣
複式３、特支１
４
１２
２５</td></tr>
<tr><td>公開授業・活動
（単式・複式等）
【教科名等】</td><td>一校時</td><td colspan="2">１・２年（複式）、３・４年（複式）
５・６年（複式）、４年特支（単式）
【算数】</td><td>二校時</td><td colspan="3">全校発表・郷土芸能発表
（全校群読・合唱、上郷小子ども神楽、石亀神楽、なにゃどやら）</td></tr>
<tr><td>研　究　主　題
～副主題～</td><td colspan="6">自分の考えをもち、ともに学び合う子どもの育成
～子どもの思考が見えるノート指導を通して（算数科）～</td></tr>
<tr><td>全へき連研究
課題との関連</td><td colspan="6">③</td></tr>
<tr><td>研　究　内　容</td><td colspan="6">〈研究仮説〉
○課題解決の見通しをもたせ、自分の考えをノートに整理すれば、進んで発表し、ともに学び合う子どもが育つであろう。
・課題解決の見通しをもたせる工夫
・自分の考えを整理させるノート指導の工夫
・ほめ、認め、伸ばす声がけやコメントの工夫
○学校課題の解決に向け、算数科の校内研修に取り組んでいる。また、『ふるさと上郷たくましく』を掲げ、「地域の郷土芸能に親しむ学校行事や集会活動」を通して、自分の考えをもち、ともに学び合う子どもの育成に取り組んでいる。</td></tr>
<tr><td>学校・地域の
紹　　介</td><td colspan="6">
「日本一」と評されるたっこにんにくが、全国的に有名な人口およそ６、０００人の田子町。上水道は、豊富な湧き水により、林野庁「水源の森百選」となり、夜空は、旧環境庁の夜空日本一に選ばれた田子町の西部に上郷地区がある。
その地区に位置する本校は、地区の教育文化の要として、明治９年に旧上郷小の創立に始まり、昭和４７年４月、旧上郷小・遠瀬小・関小・夏坂小の４校が統合され、上郷小学校となった。４９年４月、全校２２７名の下、新校舎において入学式を挙行し、現在に至っている。
本校は、平成２６年度より、「ほめ、認め、伸ばす」をキャッチフレーズにひとつでも多い声がけをする教育活動を展開している。地域の郷土芸能・文化に親しむことで、ふるさとが大好きになり、心身ともにたくましい子どもづくりが本校の未来像である。
児童数は年々減少する中で、学校に献身的な保護者・地域は、学校行事をはじめ、田植え・稲刈りなどの農作業体験や収穫祭、プール・スキー学習、相撲大会、環境整備、リサイクル活動等の教育活動に対し、物心両面にわたっての協力を惜しむことはない。

以上より、保護者、地域を巻き込みながら、子どもたちの活気がますます満ちあふれている学校である。</td></tr>
</table>

９　参加申し込み要領

（１）申し込み方法

①　**Ｗｅｂ上からの申し込みのみ**になります。下記「大会申込専用サイトご利用の流れ」にしたがって参加者全員が申し込み（登録）を行ってください。

申し込み開始日は、６月２０日（月）です。締切は、７月２２日（金）です。

大会申込専用サイトご利用の流れ

全へき連のホームページ（http://www.zenhekiren.net/）にアクセス
画面上の「第65回青森大会参加申込」ボタンをクリック
ここから、東武トップツアーズ株式会社運営の大会専用ホームページに移動します。

トップページ
画面右下の「募集要項」ボタンをクリックすると募集要項を確認できます。
最初に「はじめての方はここをクリック」ボタンをクリックして新規ユーザー登録画面におすすみください。

初期登録
氏名（カナ）・メールアドレス・パスワード・秘密の質問を入力することで初期登録が完了します。新規ユーザー登録を終えますと「マイページ」が画面上に表示されます。（登録確認メールが送信されます）

マイページ
「マイページ」の「参加者登録」をクリックして、お申込代表者の詳細情報を登録します。マイページでの登録を終えると画面左側に各種操作メニューが表示されます。２回目以降の操作は取得したIDとパスワードでログインして操作します。

参加登録（同行者）
お申込み代表者以外の参加者が同行するときは「同行参加者登録」をクリックして、同行者の詳細情報を登録します。

各種予約
分散会・分科会・交流会・分科会会場移動専用バス・宿泊・昼食弁当のお申込みをそれぞれの申込み画面の表示に従い入力してください。

支払
各種申込み手続きのあと「支払」画面では申込み内容の確認ができます。
表示内容に誤りがないときは「確定」ボタンをクリックしてください。
お支払方法はクレジットカード・銀行振込のほかコンビニでの入金が可能です。
お支払いは８月１９日（金）までにお願いします。

変更・取消
各種申込項目の取消操作ができます。予約の変更は該当予約の取消操作のあと再度予約操作をしてください。

参加券・明細書
各種申込項目のお支払いが確認された後、お客様の端末から大会参加券・予約確認書などを出力することができます。お支払確認後に画面メニュー内に「参加券等発行」ボタンができましたら、大会当日までに出力していただき、ご持参ください。

※大会申込専用サイトから２４時間いつでも必要なお申込が可能です。

② Ｗｅｂからの申し込み（登録）が完了したら、本冊子Ｐ２０の「参加とりまとめ用紙（様式１）」（以下、様式１という。）も下記の手順で提出してください。

ア　大会参加者は、学校ごとに参加を取りまとめ、「様式１」に記入の上、各市町村教育委員会へ提出する。**（７月２２日（金）締切）**

イ　各市町村教育委員会は、市町村ごとに参加を取りまとめ、「様式１」に記入の上、各教育事務所へ提出する。**（７月２７日（水）締切）**

ウ　各教育事務所は、教育事務所ごとに参加を取りまとめ、「様式１」に記入の上、都道府県教育委員会へ提出する。**（８月１日（月）締切）**

エ　都道府県教育委員会は、都道府県ごとに参加を取りまとめ、「様式１」に記入の上、下記申し込み先、東武トップツアーズ株式会社青森支店まで、郵送又はＦＡＸで提出する。**（８月５日（金）締切）**

（２）申し込み及び問い合わせ

〔旅行企画・実施〕
東武トップツアーズ株式会社青森支店
担当：伊　藤　正　憲
〒030-0801　青森市新町二丁目５番６号
TEL 017-723-3671　FAX 017-722-1561
営業時間　平日9:00～18:00　休業日　土・日曜、祝日
E-mail:masanori_ito@tobutoptours.co.jp
観光庁長官登録旅行業第３８号　ＪＡＴＡ正会員　ボンド保証会員
総合旅行業務取扱管理者　藤井達司　承認番号No. 客国１６－２４４
旅行業公正取引協議会会員

（３）個人情報の取扱い

申し込みの際の個人情報につきましては、今大会に係る目的以外には使用いたしません。

（４）申し込み内容の変更・取り消しについて

申し込みの内容について、変更及び取り消しを必要とする場合は、大会専用ホームページから、申し込み内容の変更・取り消しをしてください。７月２９日（金）まで可能です。

電話での変更・取り消しは事故防止のため、受け付けいたしかねますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、期日を過ぎての変更及び取り消しにあたっては、旅行業約款に基づいて下記のとおり取り消し料金を徴収させていただきます。すでにお支払いいただいた代金につきましては、大会終了後に取り消し料を差し引いて返金させていただきます。

《取消料金について》

※取消日とは、お客様が当社の営業日・営業時間内に、弊社へご連絡いただいた日とします。

	旅行開始日の前日から起算して		前日	当日	旅行開始後 無連絡取消
	20日前～	７日前～			
交流会費	参加費の20%	参加費の30%	交流会費の半額	全額	全額
弁当代金	弁当代金の20%	弁当代金の30%	弁当代金の半額	全額	全額

交流会・弁当は旅行商品ではありませんので、旅行条件は適用されません。これらは旅行契約に該当しません。

	旅行開始日の前日から起算して		前日	当日	旅行開始後 無連絡取消
	20日前～	７日前～			
専用バス	代金の20%	代金の30%	代金の40%	代金の50%	全額
宿泊代金	代金の20%	代金の30%	代金の40%	代金の50%	全額

＊大会参加費等は大会事務局からの依頼に基づき、東武トップツアーズ株式会社青森支店が事務手続きを代行します。

＊サイト上に掲載しております詳細な「ご旅行条件書」をご確認の上、お申し込みください。

１０　宿泊施設のご案内及び注意事項

（１）宿泊施設一覧〔募集型企画旅行〕

①大会前日（１０月１２日）

施　　設　　名	宿 泊 料 金	部屋タイプ	備　　考
ホテル青森	１１，５４０円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
	１０，４６０円	ツ イ ン	１泊朝食（夕食なし）
ホテルクラウンパレス青森	７，５００円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
青森グリーンパークホテル	７，０００円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
青森グリーンパークホテル　アネックス	７，０００円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
アップルパレス青森	８，７００円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
アルファホテル青森	６，７００円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
青森ワシントンホテル	９，３８０円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
	８，３００円	ツ イ ン	１泊朝食（夕食なし）

※ツインは１室２名利用の際の１名様の料金です。

②大会１日目（１０月１３日）

分科会会場校 宿泊施設名	宿 泊 料 金	部屋タイプ	備　　考
A　外ヶ浜町立三厩中学校			
ホテル竜飛	１１，６９０円～ ２０，３３０円	洋室・和室 和洋室（５名定員）	１泊２食、１室４～５名
B　つがる市立車力小学校　　C　つがる市立車力中学校			
ホテルサンルート五所川原	９，３８０円	シングル	１泊２食
ホテルサンルートパティオ五所川原	７，７６０円	シングル	１泊２食
D　弘前市立常盤野小中学校			
東横イン弘前駅前	５，３８４円	シングル	１泊朝食（夕食なし）
ホテルルートイン弘前駅前	８，７００円	シングル	１泊２食
嶽温泉　アソベの森いわき荘	１２，０８０円～ １５，２００円	洋室（ツイン） 和室（４名定員）	１泊２食、１室２～４名
E　三沢市立おおぞら小学校　　F　三沢市立第三中学校			
ホテルルートイン三沢	８，７００円	シングル	１泊２食
三沢シティホテル	８，９００円	シングル	１泊２食
G　むつ市立川内小学校　　H　むつ市立川内中学校			
ホテルユニサイトむつ	１１，１３６円	シングル	１泊２食
I　田子町立上郷小学校			
十和田湖休屋　十和田荘	１３，７００円～ １８，０００円	和室（５名定員）	１泊２食、１室２～５名

※和室・和洋室は相部屋利用となります。

※最少催行人員：１名。添乗員は同行しません。

（２）申し込みにあたっての注意事項

①宿泊代金は、すべて「サービス料及び税金込み」の１名様の料金です。

②今大会の宿泊施設は、一部和室を中心とした旅館タイプとなります。１名１室のご利用の場合、宿泊料金が高額になってしまう旨、また、同室者の希望がない場合は、他の参加者との相部屋とさせていただく旨を予めご了承ください。

③宿泊施設のご案内は、原則、先着順とさせていただきます。各宿泊施設の部屋数には限りがありますので、ご希望に添えない場合もございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

１１　大会参加費・交流会・分散会・分科会・大会専用バス・弁当について

（１）大会参加費　　一人　４，０００円

＊どちらか１日だけのご参加でも同額となります。

＊事前に取消のご連絡をいただいた場合は大会終了後資料をお送りしますが、大会参加費は理由のいかんを問わず返金できませんのでご了承ください。

（２）交流会のご案内

大会参加者の懇親の機会として、夕食を兼ねた交流会を設定いたします。意見交換と懇親を通して、全国にネットワークを広げる機会にしていただきたく思います。多数の参加をお待ちしています。

①日　時　　平成２８年１０月１２日（水）１８：００～２０：００

②会　場　　ホテル青森　３階「孔雀の間」
（青森市堤町１－１－２３　ＴＥＬ　０１７－７７５－４１４１）

③会　費　　６，０００円

④申し込み　　参加希望の方は、大会専用ホームページから「交流会」の参加申し込みをお願いいたします。

（３）分散会のご案内

本冊子Ｐ３～Ｐ４の「７　課題別分散会発表校」をご参照の上、大会専用ホームページからお申し込みください。

申し込み先着順に受け付けさせていただきます。会場の受け入れ人数に限りがありますので、ご希望に添えないこともございます。予めご了承ください。

（４）分科会のご案内

本冊子Ｐ５～Ｐ１３の「８　分科会（公開授業）会場校概要」をご参照の上、大会専用ホームページからお申し込みください。

申し込み先着順に受け付けさせていただきます。会場の受け入れ人数に限りがありますので、ご希望に添えないこともございます。予めご了承ください。

（５）大会専用バスのご案内

本冊子Ｐ１８～Ｐ１９の「分科会会場校への行動行程」をご参照の上、大会専用ホームページからお申し込みください。大会専用バスは宿泊申込者を優先させていただきます。

大会専用バス代金　　一人　５，０００円

＊分科会会場に関係なく、一律料金とさせていただきます。

＊添乗員は同行しません。

＊各コースとも最少催行人員は３５名です。

（６）弁当手配のご案内

１０月１３日、１４日の昼食弁当：両日とも１，０００円（税込、お茶付）

大会専用ホームページからお申し込みください。

昼食時間が限られている上、大会２日目はほとんどの会場校の周辺には食事施設やコンビニはありません。お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

１２　分科会会場校への行動行程

〔募集型企画旅行〕

A 外ヶ浜町立三厩中学校

期日	行　　程	備　考
10／13 （木）	16：00　大会専用バス　18：15 ホテル青森 ═══ ホテル竜飛(泊) ※各自チェックイン(夕食)	
10／14 （金）	8：20　大会専用バス　8：45　　13：30　14：00 ホテル竜飛 ═══ 外ヶ浜町立三厩中学校 ═══ 奥津軽いまべつ駅 ═══ 15：15　　15：45 ═══ 新青森駅 ═══ 青森空港	

B つがる市立車力小学校　　C つがる市立車力中学校

期日	行　　程	備　考
10／13 （木）	16：00　大会専用バス　17：00 ホテル青森 ═══ ホテルサンルート五所川原(泊) ホテルサンルートパティオ五所川原(泊) ※各自チェックイン(夕食)	
10／14 （金）	8：00　大会専用バス　8：40　　13：30 ホテルサンルート五所川原 ═══ つがる市立車力中学校 ═══ ホテルサンルートパティオ五所川原 14：10　　15：10　　15：45 ═══ 五所川原駅 ═══ 青森空港 ═══ 新青森駅	

D 弘前市立常盤野小中学校

期日	行　　程	備　考
10／13 （木）	16：00　大会専用バス　17：10　　17：50 ホテル青森 ═══ 東横イン弘前駅前(泊) ═══ アソベの森いわき荘(泊) ホテルルートイン弘前駅前(泊) ※各自チェックイン(夕食)	
10／14 （金）	7：50　大会専用バス　8：30 東横イン弘前駅前 ═══ アソベの森いわき荘 ═══ ホテルルートイン弘前駅前 8：45　　13：30　14：15　　15：00　　15：35 ═══ 弘前市立常盤野小中学校 ═══ 弘前駅前 ═══ 青森空港 ═══ 新青森駅	

E 三沢市立おおぞら小学校　　F 三沢市立第三中学校

期日	行　　程	備　考
10／13 （木）	16：00　大会専用バス　17：30 ホテル青森 ═══ ホテルルートイン三沢(泊) 三沢シティホテル(泊) ※各自チェックイン(夕食)	
10／14 （金）	8：00　大会専用バス　8：30　　13：30 ホテルルートイン三沢 ═══ 三沢市立おおぞら小学校・三沢市立第三中学校 ═ 三沢シティホテル 14：00　　14：20　　15：00　　16：30 ═ 三沢空港 ═ 三沢駅 ═ 七戸十和田駅 ═ 青森空港	

G むつ市立川内小学校　　H むつ市立川内中学校

期日	行　　程	備　考
10／13 （木）	16：00　大会専用バス　18：15 ホテル青森 ═══ ホテルユニサイトむつ(泊) ※各自チェックイン(夕食)	
10／14 （金）	8：00　大会専用バス　8：45　　13：30 ホテルユニサイトむつ ═══ むつ市立川内小学校・むつ市立川内中学校 ═ 14：10　　16：00　　17：30 ═ 大湊駅 ═ 七戸十和田駅 ═ 青森空港	

I 田子町立上郷小学校

期日	行　　程	備　考
10／13 （木）	16：00　大会専用バス　17：45 ホテル青森 ═══ ホテル十和田荘(泊) ※各自チェックイン(夕食)	
10／14 （金）	7：50　大会専用バス　8：45　　13：30　　14：45 ホテル十和田荘 ═══ 田子町立上郷小学校 ═══ 八戸駅 ═ 16：45 ═ 青森空港	

（様式１）〔複写可〕

大会参加者、市町村教育委員会・教育事務所・都道府県教育委員会提出用

第６５回全国へき地教育研究大会青森大会

第３２回東北地区へき地教育研究大会青森大会

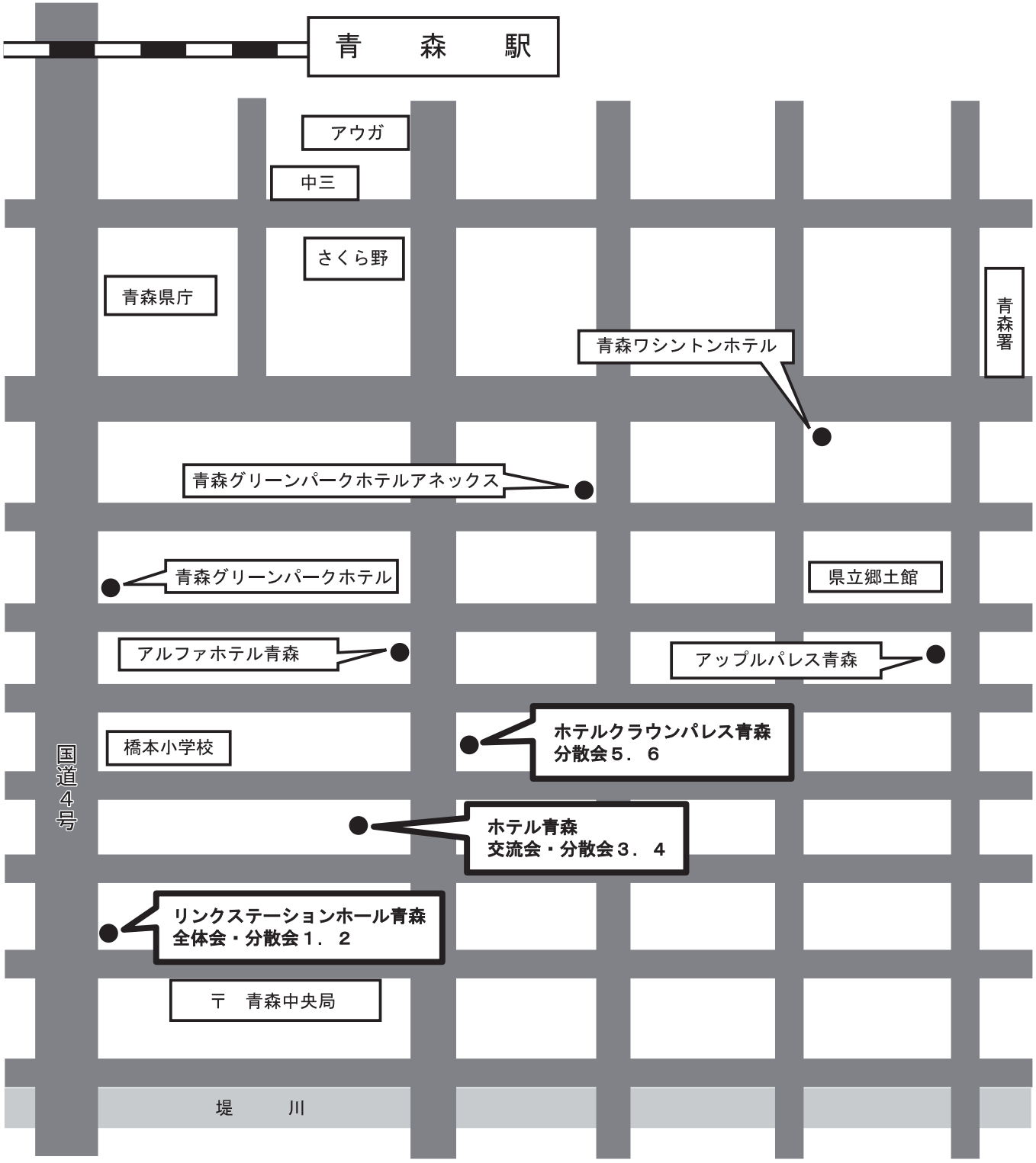
第５８回青森県へき地・複式教育研究大会

参加とりまとめ用紙

No.	名　　前	職　名	所　属　名	分　散　会	分　科　会	Ｗｅｂでの申込み確認
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

※Ｗｅｂでの申込みを忘れずにお願いします。（確認欄に済記入）

※アクセス案内

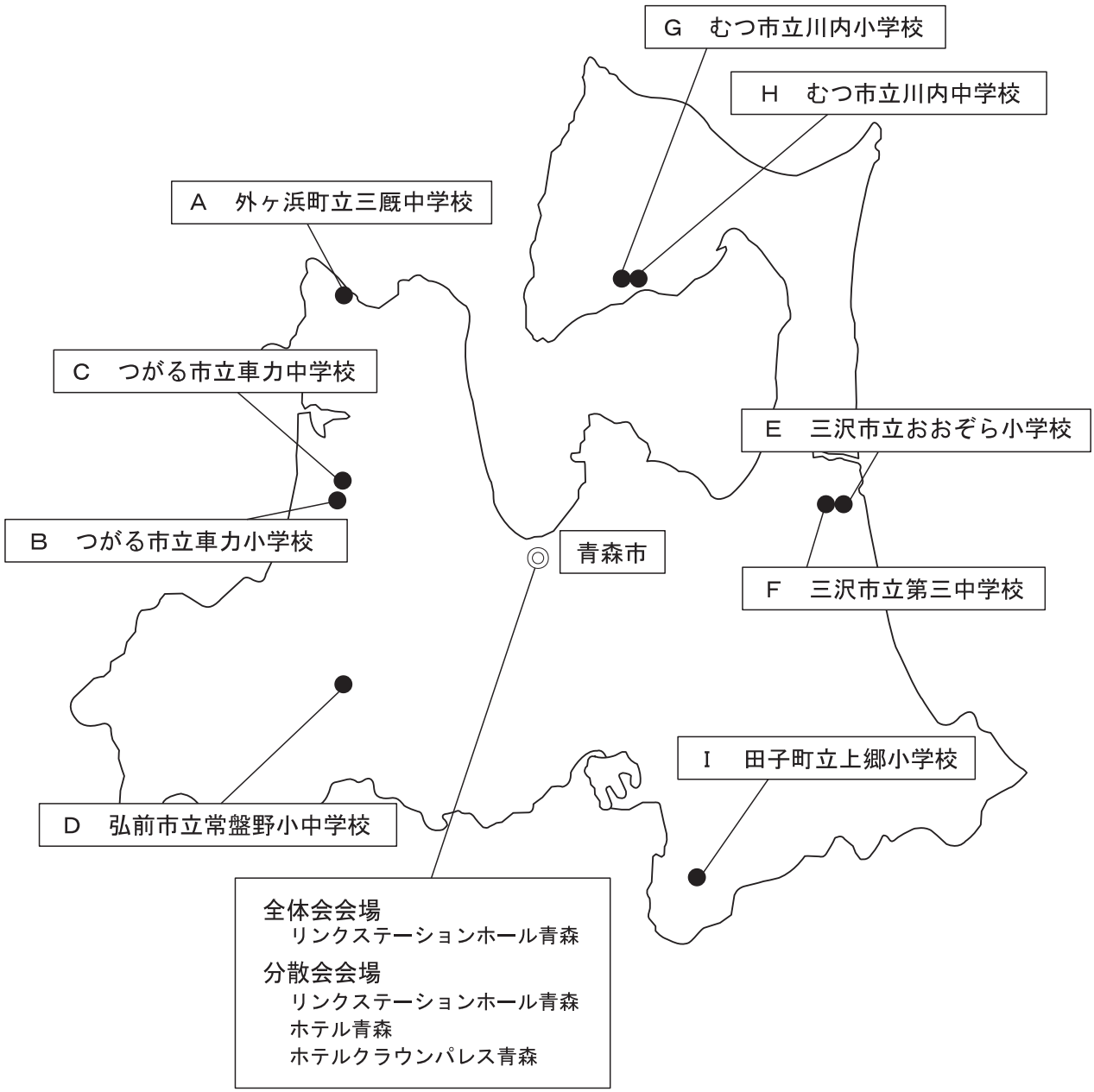


〔１〕ＪＲ利用の場合
（新幹線）ＪＲ新青森駅→タクシー：２０分→リンクステーションホール青森
（新幹線）ＪＲ新青森駅→ＪＲ奥羽本線：６分→ＪＲ青森駅→タクシー：１０分→リンクステーションホール青森
→市営バス（２番乗場）：１０分→文化会館前

〔２〕乗用車ご利用の場合
東北自動車道（青森中央ＩＣ）：約２０分→リンクステーションホール青森

〔３〕航空機ご利用の場合
青森空港→連絡バス：約４０分→JR青森駅→タクシー：１０分→リンクステーションホール青森
青森空港→連絡バス：約４０分→JR青森駅→市営バス（２番乗場）：１０分→文化会館前

分科会会場校等案内図



問　い　合　わ　せ

第６５回全国へき地教育研究大会青森大会実行委員会　事務局

〒038－0052　青森県青森市清水字浜元１８１

青森市立奥内小学校　校長　小　林　真　也

ＴＥＬ　０１７－７５４－２００９
ＦＡＸ　０１７－７５４－２０８３
E-mail　okunaisyo-pr@aomoricity.ed.jp
全へき連　http://www.zenhekiren.net/